

## 認定施設認定委員会

委員長：朝戸 裕貴

担当理事：亀井 譲

委員：磯貝 典孝、稲川 喜一、漆館 聡志、小川 令、奥本 隆行、  
門田 英輝、土佐 泰祥、中岡 啓喜、古川 洋志、三鍋 俊春、  
元村 尚嗣、力丸 英明

開催年月日：①2018年5月11日：2019年度専門研修プログラム審査会

②2019年2月15日：2018年度認定施設認定審査会

主な議題：1. 認定施設および教育関連施設の更新認定と新規認定審査  
2. 研修プログラムの新規・更新申請審査  
3. 専攻医募集に関する学会内での対応

活動の概要：1. 本年度の認定施設・教育関連施設の更新および各新規申請の審査結果は次の通りである。審査施設総数 502 施設（以下数字は施設数を示す）  
i) 認定施設更新申請は 335 施設であり、うち 330 施設が最終更新認定された。3 施設は更新辞退、2 施設が教育関連施設への転換となった。  
ii) 教育関連施設更新申請は 180 施設であり、うち 153 施設が最終更新認定された。6 施設は更新辞退、15 施設は認定施設へ、1 施設は教育関連施設美容外科から教育関連施設へ、1 施設は親施設の変更、4 施設は資格取り下げとなった。  
iii) 新規認定施設申請は 23 施設であり、22 施設が最終認定され、1 施設の申請が棄却された。新規教育関連施設申請は 19 施設であり、うち 15 施設が教育関連施設に、2 施設が教育関連施設美容外科として最終認定され、2 施設の申請が棄却された。  
2. 2019年開始の新専門医制度における研修プログラムおよび基幹施設・連携施設の構成について、学会内の一次審査を上記日程で行った。既に 2018 年度のプログラムを提出していた 78 施設中 1 施設が辞退し、新規申請の 4 施設を加えた 81 施設のプログラムを全て承認した。  
3. 専攻医募集に関して  
2019 年度より開始される新専門医制度においてプログラムに募集した形成外科領域の総人数は定員 302 名に対して、208 名であった。都市部への集中を防ぐ為に学会内での調整を行い、本年は 193 人の専攻医を採用とすることになった。都市部に 15 名の不合格者が生じることになった。  
次年度は募集定員の適正化に向け、一昨年及び昨年度の定員数から充足率をかけた採用数を算出し、各施設に提示した。

<都市部>

<都市部以外>

[充足率]	[定員の変化]	[充足率]	[定員の変化]
90%以上	+ 1	80%以上	+ 1
60~89%	変化無し	50~79%	変化無し
59%以下	- 1	49%以下	- 1

\*基本となる考え方。定員数が 1 に満たない場合は適用しないなど柔

軟に対応。提案数は指導医数、症例数の条件がクリアされている場合の各プログラムの上限募集定員数。但し、過去2年の充足率による計算での減少提案は、定員数3以上のプログラムにのみ適用している。また、次年度のシーリングのかかった都府県における定員調整方法については委員会内で試案を作成し、検討中である。